

「美しい時代」の怪しいヒーローたち

ベル・エポックとは「美しい時代」という意味で、一九〇〇年の万博に象徴されるように、フランスの十九世紀末から二十世紀初頭を指す。当時のフランスには、世界でも破格の百万部前後の発行部数を誇る新聞が四紙もあり、その紙面を飾ったのがしばしば犯罪をテーマとする連載小説である。美しい時代は、犯罪者や悪党がうごめく不安な時代でもあった。《ベル・エポック怪人叢書》は、この時代を代表する作品を収めた魅力的なシリーズ。同時期のルブランが創造した怪盗ルパン以上に裏社会で暗躍する恐るべき、時として悲劇的な、そしてつねにカッコいいダークヒーローが登場して、息もつかせぬ物語が展開する。大衆文学とあなどるなかれ！ 作者は当時最新の科学、医学、テクノロジーの知を駆使して、社会の闇と民衆の秘めた欲望をあぶりだす。現代人でもあつと驚くような技術や、状況の反転が利用される（詳細は読んでのお楽しみ）。そしてこれらの作品は、誕生してまもない映画の題材にもなった。時代の感性と鋭敏に共鳴し、その後の大衆小説の流れに大きく影響した作品群の邦訳は、まさしく快挙である。

小倉孝誠（フランス文学・文化史）

全3巻4冊

ベル・エポック怪人叢書

レオン・サジ — 安川孝 — 訳

— 装画：榊原一樹

『ジゴマ』上・下巻

— 2022年7月刊行予定 —

第1回配本

上巻 ISBN978-4-336-07355-6 | 下巻 ISBN978-4-336-07356-3
各定価：3,520円（10%税込）

ガストンルルー — 宮川朗子 — 訳

— 装画：榊原一樹

『シェリ＝ビビの最初の冒険』

第2回配本

ISBN978-4-336-07357-0

— 2022年9月刊行予定 —

ピエール・スヴェストル、マルセル・アラン — 赤塚敬子 — 訳

『ファントマと囚われの王』

第3回配本

ISBN978-4-336-07358-7

— 装幀：コバヤシタケン

国書刊行会

〒174-0056 東京都板橋区志村 1-13-15

TEL:03-5970-7421 | FAX:03-5970-7427

<https://www.kokusho.co.jp> | info@kokusho.co.jp

ベル・エポック怪人叢書

エッフェル塔が建ち、地下鉄が走るパリ黄金期
ベル・エポックの世に、怪人たちが跋扈する！

全3巻4冊「四六変型判上製」

三面記事をにぎわす極悪非道、
正体不明の悪党どもに對すは敏腕刑事！
三大怪人もいづく、ファントマ、ジゴマ、シェリ＝ビビを一挙紹介！
初訳・完訳のダークヒーロー犯罪小説。

国書刊行会

華やかなりし仏新聞連載小説時代の、めくるめくベストセラー活劇。
犯罪は文学を刺激し、大衆の欲望を満たす。

「ザラヴィー！（Z、生きている限りは！）」

「ザラモール！（Z、死ぬまでは！）」——『ジゴマ』

「フアタリタス！（運命！）」——『シエリ＝ビビの最初の冒険』

「誰だ？ 誰なのだ？」

「俺はフアントマだよ、陛下！」

——『フアントマと囚われの王』

ジゴマ 上・下巻

レオン・サジ — 安川孝 — 訳

上巻・五二〇頁 ISBN978-4-336-07355-6 | 下巻・五二二頁 ISBN978-4-336-07356-3

覆面姿の秘密結社Z団！

パリを震撼させたル・ペルティエ通りの惨劇——モントルイユ銀行家が血の海に短刀一閃の重傷で発見された。駆けつけたポラン・ブロケ刑事長は金庫の血痕にZのサインを読み取った……。ここにジゴマ率いるZ団vsポラン・ブロケ刑事の全面抗争の火蓋が切られた！ 父を亡くした兄弟の誓い、美しきお針子とのロマンス、ペスト菌を宿した蚊のトリック……。ジゴマとはいったい誰か？ 大正初年に「ジゴマごっこ」が日本で大流行。江戸川乱歩の怪人二十面相のもととなる、久生十蘭の抄訳から久しい待望の、ダークヒーロー大長篇の傑作完訳！

シエリ＝ビビの最初の冒険

ガストンルルー — 宮川朗子 — 訳

ISBN978-4-336-07357-0

すべては運命の仕業！

肉屋見習いシエリ＝ビビはある偶然に殺人を犯し、以来殺人が殺人を呼び、前代未聞の極悪人として流刑地カイエンヌへと向かう監獄船の途上にあつた……。そして囚人たちは待っていた、シエリ＝ビビからの蜂起の合図を！ シエリ＝ビビはある出来事から恋焦がれるセシリーの夫、デュ・トゥシエ侯爵になります——それは外科医師・カナックによる言語を絶する非道な方法だった！ セシリーとシエリ＝ビビは夫婦生活をはじめめる？ 『オペラ座の怪人』のエリックに続く醜男ヒーロー、格好よすぎるルールタビーユとは真逆のアンチヒーロー、われらがシエリ＝ビビ！ 本邦初紹介のガストン・ルルー人気怪人シリーズ！

フアントマと囚われの王

ピエール・スヴェストル、マルセル・アララン — 赤塚敬子 — 訳

ISBN978-4-336-07358-7

元祖黒マスクの怪人！

コンコルド広場の噴水のニンフ像が夜な夜な歌をうたう——大晦日、新聞記者フアントールはお忍びでパリにやってきたヘッセ＝ヴァイマル王国の王と意気投合し、コンコルド広場に繰りだした。ところが王の愛妾死亡事件に巻き込まれ、ひよんなことから王の身代わりを演じるはめに。相棒の敏腕警部ジューヴはフアントールを救いだすべく奔走、彼らはフアントマの王国乗っ取りを阻止できるのか？ コクトーが、マグリットが、アルトンが愛した、今なお不滅の悪のアイコン！ 新聞連載小説の時代に書き下ろされた人気シリーズ（フアントマ）。久生十蘭が換骨奪胎し『魔都』を書いたという怪作、本邦初訳！